

# 2008年度防災教育チャレンジプラン実践校



【2008年6月14日の岩手・宮城内陸地震の被害】

**「99%！ 本当にやってくる  
宮城県沖地震」  
～みんなの力で立ち向かえ～**

宮城教育大学附属小学校



# 2008防災教育チャレンジプラン実践の柱

- 1 体系化された防災教育プログラムの開発と普及
- 2 子どもの発達段階に合わせた単元の開発
- 3 保護者や行政機関，地域等との連携

# プランの主な内容

## 1 体系化された防災教育プログラムの開発と普及

- ・体験学習の充実(起震車「ぐらら」、緊急地震速報等)
- ・通学路の防災マップづくり
- ・専門家による特別講義(東北大学災害制御センター等)
- ・防災教育プログラムの普及(公開研究会) など

## 2 子どもの発達段階に合わせた単元の開発

- ・全体指導計画の作成
- ・低・中・高学年ごとの単元のユニット化
- ・防災教育リーフレットの作成 など

## 3 保護者・行政機関、地域との連携

- ・防災キャンプ等の実施における保護者等との連携
- ・行政への提案→災害に強い街づくり(市への提言) など

# 仙台学としての「防災」

## ①低学年(生活科, 特別活動)

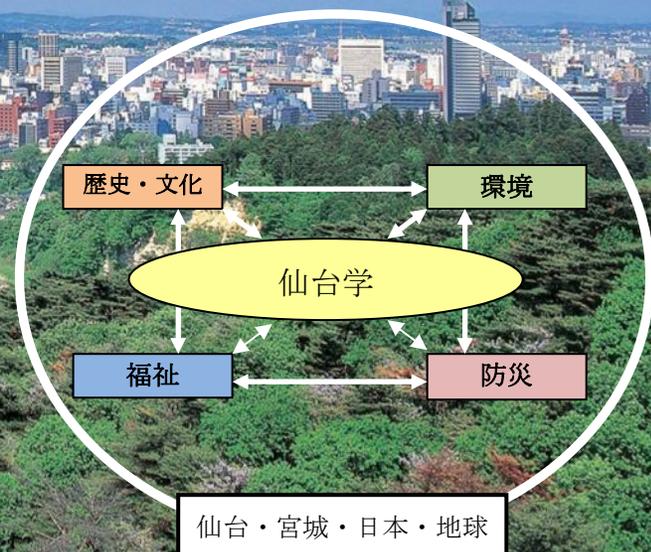
「自分の生活環境に慣れ, 体験を通じて生きる力を養う」

## ②中学年(総合的な学習の時間)

「歴史・文化, 環境, 福祉とのかかわりの中で災害に備える態度を養う」

## ③高学年(総合的な学習の時間)

「自然災害の起こる仕組みを学習し, 防災の社会システムや災害を予測し減災できる科学の力を学び, 子どもたちに自信と夢をもたせる」



# 体系的な防災教育に向けて



# 仙台学「防災」の実践から

## 1 全学年による緊急地震速報を活用した避難訓練

平成20年6月12日実施



震度5強 10・9・  
8...



2日後 岩手・宮城内陸地震発生



## 第1学年(学校の防災用倉庫を探検しよう)

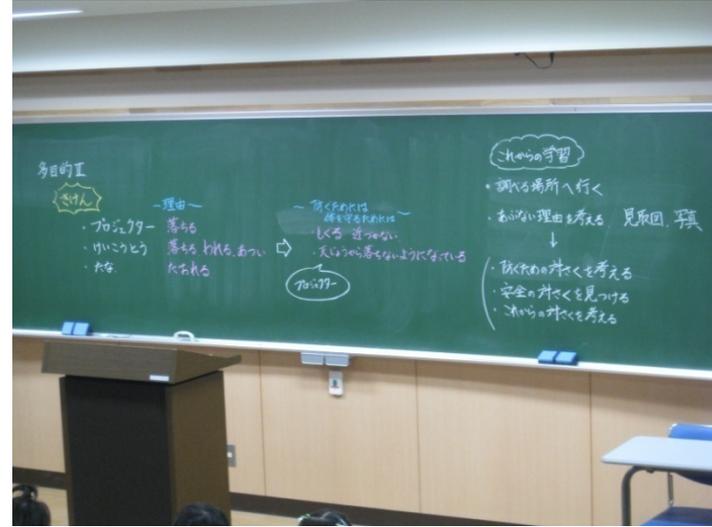


## 第2学年(非常袋を調べよう)



# 第3学年

## 学校内で地震から身を守るには…

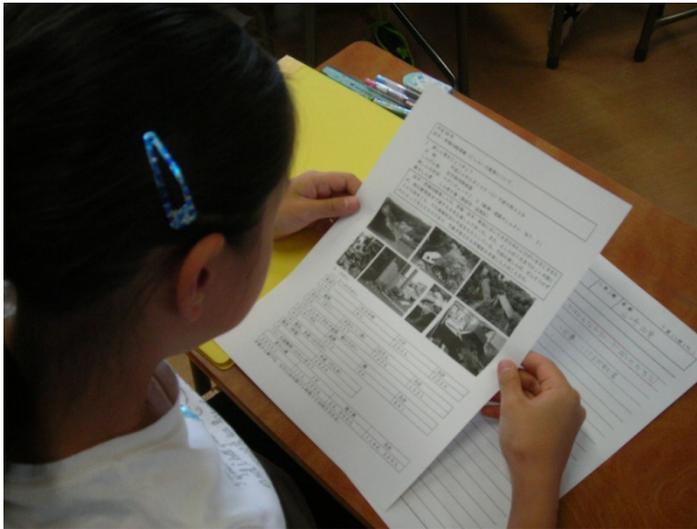


## 仙台市消防局との連携

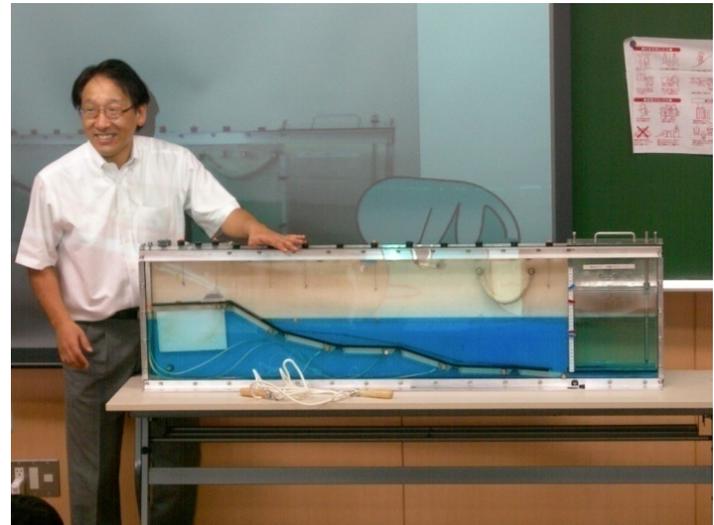


# 第4学年

## 地震の被害を知り，通学中の安全を考えよう



## 外部講師招へい（東北大学今村文彦教授）



# 第5学年

## 外部講師招へい(東北大学佐藤健准教授)・学年親子行事



## わたしたちにできること(防災編)



# 第6学年

## 外部講師招へい(東北大学源栄教授) 保護者，行政機関との連携(防災キャンプ)



# チャレンジプラン取組の成果

- ①体系的・継続的な指導による防災力の向上
  - ・地震に対する行動力
  - ・生活の中への浸透(日常の言動)
  - ・保護者の意識の高まり
- ②地域, 専門機関との連携の強化
- ③実践の普及
- ④仙台という地域の見直し

# 今後のチャレンジ

- ①指導計画，指導内容の改善・充実
  - ・体系的な指導内容(幼・小・中の系統)
  - ・実態(発達，生活環境)に合った指導内容
  - ・教科等との関連
  - ・教師の意識の向上(研修会等)
- ②保護者，地域，行政・専門機関との  
一層の連携
- ③防災教育の継続的な指導

# 体系化・継続化による学習活動の成果

二十年度五年生



十八年度三年生



質的・量的，意識の高まり，広がり = 防災力の向上

継続的な取組(教師も子どもも) = チャレンジ

# 2008年度防災教育チャレンジプラン実践校



【2008年6月14日の岩手・宮城内陸地震の被害】

**「99%！ 本当にやってくる  
宮城県沖地震」  
～みんなの力で立ち向かえ～**

宮城教育大学附属小学校

